

【担当課：市民局 男女共同参画課】

議 題	大阪市女性活躍施策検討プロジェクトチーム 施策提言の市長へのプレゼンテーション
日 時	平成 29 年 12 月 25 日（月曜日）10：30～11：15
場 所	大阪市本庁舎 5階 大応接室
出 席 者	大賀特別顧問、佐野特別参与 （職員等）：大阪市長、市民局理事、市民局女性活躍促進担当部長、市民局女性活躍促進担当課長、市民局男女共同参画課長、市民局男女共同参画課担当係長
論 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大阪市女性活躍施策検討プロジェクトチームによる施策提言に対する意見</li> </ul>
主 な 意 見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大変簡潔でロジカルな提言であった。</li> <li>・ 働き盛りの官民の女性が一緒になって、現場や組織の状況もよく理解したうえでの議論であったというのがうかがえた。</li> <li>・ 日本のジェンダーギャップは毎年順位を下げている。</li> <li>・ アジアの国々が頑張っている中、日本も頑張っているが順位を下げている状況である。</li> <li>・ 日本の資源の中で十分に発掘されていない資源は女性の能力である。</li> <li>・ 先ほど、大阪府の女性の就業率が下位グループにあるとあったが、これを言い換えるとまだ発掘されていない資源がまだまだたくさん眠っていて、成長余力があるのだということだと考える。</li> <li>・ 大阪の宝である中小企業の眠った資源の開発と共に、これを機にこれらを発掘し、日本の主たる力となっていくことを期待する。</li> <li>・ 性別役割分担意識は簡単には無くならないものだが、今回の提言にあったようにトップからまず変わるというのは非常に有効であると考えます。</li> <li>・ 市長からのメッセージとともに、ここにいかに企業のトップを巻き込むかが重要である。</li> <li>・ 中小企業がどのように働き方改革を進めていくか、今後益々需要が高まっていくので、大企業などが蓄積した知識やノウハウを届けて、実践に繋げていくことが大事であると考えます。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 今日がまさにスタートであり、いかに実践していくかが勝負だと思う。</li></ul>
資 料	提言「女性の活躍に向けて官民協働で取り組む施策について」概要版 提言「女性の活躍に向けて官民協働で取り組む施策について」 <a href="http://www.city.osaka.lg.jp/shimin/page/0000421732.html">http://www.city.osaka.lg.jp/shimin/page/0000421732.html</a>
関係所属	市民局